

全国中学生創造アイデアロボットコンテスト

関東甲信越地区大会 千葉大会 確認事項

【制御部門】

1. 会場について

- (ア) 体育館のグランド側のカーテンとドアは締め切りにする。
- (イ) 車検後、センサの調整のために各チーム2分間1回の競技するコートの使用ができる。

2. 競技の流れについて

- (ア) 持ち込みコート・板がある場合、競技前に設置する。
- (イ) アイテムを審判に渡し、規格と数を確認してもらい「ボウル」に入れる。
- (ウ) 競技前、ロボットはコート外に置くこととするが、会場が狭く十分なスペースがない場合にはコート内のスタートエリア外に置いておく。(セッティングとならないように)
- (エ) 審判のコールでセッティングを行う。(ロボットの設置、アイテムを撒く)
- (オ) ※ボーナススポットの位置を見て、ロボットの向きを変えることはできない。
- (カ) 審判の確認後、スタートとなる。
- (キ) 競技終了と同時に、ロボットを停止させる。

3. アイテムの規格について

- (ア) 小さなガレキ
直径 30 ± 1 、高さ 13 ± 1
- (イ) 大きなガレキ
直径 65 ± 2 、厚さ 30 ± 2

4. アイテムの撒く場面について

- (ア) 「ボウル」は黄色のシール上でひっくり返す。前後左右に動かさない。
- (イ) ロストアイテムは「どんぶり」入れて混ざらないようにする。

5. サイコロの振り方

- 「どんぶり」より上から手を返して振る。

6. 生徒のコールに関して

- (ア) リトライ
申告は、「リトライ」と同時に挙手をするなど審判がわかりやすく行う。
- (イ) ピットイン

審判の「ピットイン」を聞いてからコート外にロボットを出す。

(ウ)再スタート

スタートエリアにロボットを置き、審判の「再スタート」を聞いてから再開する。

7. 再スタート時に、スタート位置に入っているアイテムについて

ロボットがピットインしたときに取り込んでいたアイテムについてはボウルの中に入れてください。

8. 失格について

次のことがあった場合は「ロボットや競技コート、アイテムを故意に変形・破損する行為」に当てはまるため失格となる。

- ① ボーナスポットが外れる。
- ② 透明カバーが外れる。
- ③ ①②を防ぐために審判は補助できない。

9. 決勝試技のコートについて

決勝試技は第6コートで行うことになっていたが、第5～第8コートの希望のコートで行ってもよい。決勝試技の車検時に申告すること。

【応用部門】

- ・フライングまたはピットインの際には再スタートの前に必ずコントローラーを置き、審判の許可を得た後協議を開始する。
- ・ピットインの際、「選手は発声、あるいは動作合図により審判に知らせる」とあるが、本大会においての動作合図は「挙手」を行うものとする。
- ・【Q&A】A9における「タワーの最上段」とは、建設エリア内にあるどのタワーでも対象になると解釈する。

●本大会においてはルールの解釈を以上のように行うことと致しますが、全国大会ではルールの解釈に差異が生じる可能性があります。ご理解いただきますようお願いいたします。